

登録コード	A3592448	開講年度	2026					
授業科目	プレゼンテーション演習					担当教員	松島 憲一	
英文授業名	Presentation							
単位数	1	講義期間	前期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	4年前期	
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】		
	2 0 2 2 Aカリ，2 0 2 1 Aカリ，2 0 2 0 Aカリ，2 0 1 9 Aカリ							
	【2022年度以前加修対象】専門的な知識や研究能力を修得している					農学、特に植物遺伝育種学に関する専門的なプレゼンテーション能力を取得している。		
	【2022年度以前加修対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					農学、特に植物遺伝育種学に関する専門的なプレゼンテーション能力を取得している。		
	2 0 2 6 A3 編（24A），2 0 2 5 A3 編（23A），2 0 2 4 Aカリ，2 0 2 3 Aカリ							
	【2024年度以前加修対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確な情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					農学、特に植物遺伝育種学に関する専門的なプレゼンテーション能力を取得している。		
	【2024年度以前加修対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					農学、特に植物遺伝育種学に関する専門的なプレゼンテーション能力を取得している。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	本授業では、自分の研究計画、その研究に関連する海外の論文紹介、調査や実験から得たデータの報告、まとめについて、MS社のPowerPointを使って、各研究分野のセミナーで発表する。							
(5)授業計画	1 プレゼン資料の作り方（資料配布） 2-15 他人のプレゼンテーションを聴講し、自分の担当回で、自分の研究分野に関連した論文について、スライド等を用いて発表する。 15回目、最後の15分間は授業アンケートに回答するための時間とします							
(6)自主学習の指針	自主学習では参考書の使用を薦める。							
(7)成績評価の基準	以下の点で評価します。 効果的なパワーポイントが作製できたか。 専門用語を理解しているか。 論文の背景や関連論文を理解しているか。 適切な発表がされているか。 他者の発表を理解し、質疑応答に参加できているか。							
(8)事前事後学習の内容	自身の発表に対しての質疑応答で正しく回答出来たか、他者の発表に対しての質問が適切であったか振り返り、再度、調べ直す。							
(9)テストやレポートの予定	なし							
(10)成績評価の方法	発表内容と発表時における質疑応答							
(11)質問、相談への対応および連絡先	随時受け付ける							
(12)履修上の注意	出席が2/3に満たない受講者には、単位を認定しない。							
【教科書】	特に指定しない。							
【参考書】	これから学会発表する若者のために -ポスターと口頭のプレゼン技術- （酒井聡樹著、共立出版） 学生・研究者のための伝わる！学会ポスターのデザイン術 （宮野公樹著、化学同人）							